

W T O 漁業補助金交渉に ついて

時事通信社ロンドン支局 菅正治 (suga@jiji.co.jp)

スライド 1

d1

dash, 2022/06/01

W T O 第 1 2 回 閣 僚 会 議 (6 月 1 2 ~ 1 7 日、 ス イ ス ・ ジ ュ ネ ー ブ)

- 4 年 半 ぶ り の 閣 僚 会 議 (原 則 2 年 に 1 回 開 催 、 コ ロ ナ で 2 回 延 期)
閣 僚 会 議 は W T O の 最 高 意 思 決 定 機 関
- 6 年 半 ぶ り の 閣 僚 宣 言 (前 回 は 加 盟 国 の 合 意 得 ら れ ず)
- 2 0 0 1 年 に 始 ま っ た 漁 業 補 助 金 交 渉 で 初 め て の 合 意 (部 分 合 意 、
当 初 案 か ら は 後 退)
 - 違 法 ・ 無 報 告 ・ 無 規 制 (I U U) 漁 業 に 対 す る 補 助 金 を 禁 止
 - 乱 獲 状 態 に あ る 資 源 に 関 す る 漁 業 に 対 す る 補 助 金 を 禁 止
た だ し 、 資 源 管 理 な ど の 措 置 に よ っ て 資 源 回 復 を 促 し て い る
場 合 に は 補 助 金 供 与 が 許 さ れ る
 - 乱 獲 に つ な が る 補 助 金 の 禁 止 は 先 送 り 。 交 渉 を 継 続 し 、 よ り
包 括 的 な 協 定 を 目 指 す

W T O 漁業補助金交渉

- 1990年代 乱獲が問題視されるようになる
- 2001年 ドーハラウンド（多角的貿易交渉）の一部として交渉開始、その後停滞
- 2015年 国連の持続可能な開発目標（SDGs）が採択
目標14「海の豊かさを守ろう」
14-6

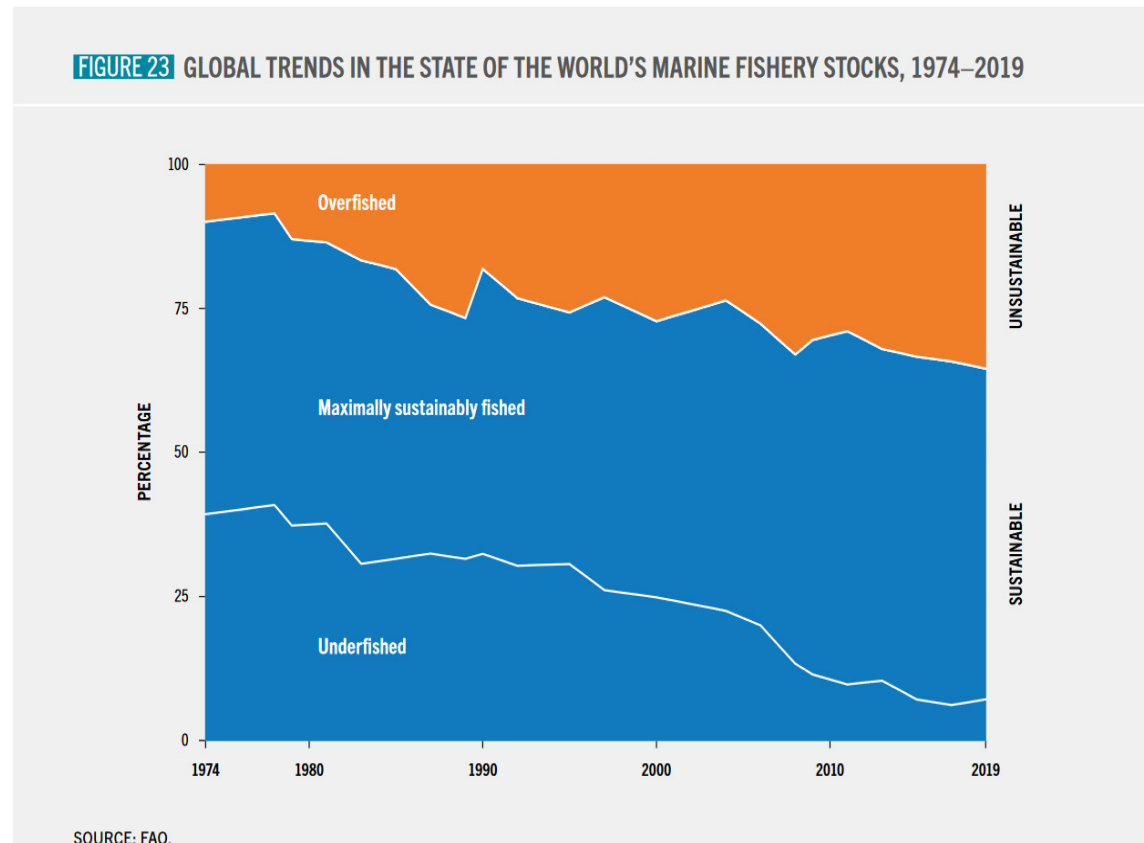
「開発途上国及び後開発途上国に対する適切かつ効果的な、特別かつ異なる待遇が、世界貿易機関（WTO）漁業補助金交渉の不可分の要素であるべきことを認識した上で、2020年までに、過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる漁業補助金を禁止し、違法・無報告・無規制（IUU）漁業につながる補助金を撤廃し、同様の新たな補助金の導入を抑制する」（農林水産省HPより）

- 2017年12月 アルゼンチン・ブエノスアイレスで第11回WTO閣僚会議、閣僚宣言を採択できず
- 2020年 6月 カザフスタンで第12回閣僚会議を予定、コロナで延期
- 8月 アゼベドWTO事務局長が辞任
- 2021年 3月 オコンジョイウェアラ氏（元ナイジェリア財務相）がWTO事務局長が就任、**優先課題として漁業補助金を挙げる**
- 7月 **漁業補助金に絞った閣僚会合**をオンラインで開催
- 12月 スイス・ジュネーブで第12回閣僚会議を予定、コロナで再延期
- 2022年 6月 スイス・ジュネーブで第12回閣僚会議を開催

日本政府のこれまでの立場

- 「資源管理を含めた水産改革の推進が可能となるよう、禁止される補助金は真に過剰漁獲能力・過剰漁獲につながるものに限定すべき」→交渉には消極的
- **2019年11月 日本とEU、韓国、台湾と共同提案**
「過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる漁業補助金は禁止する。ただし、**補助金供与国が、適切な漁業管理が行われていることを示すことができる場合には、補助金は禁止されない**」→後の合意案に採用

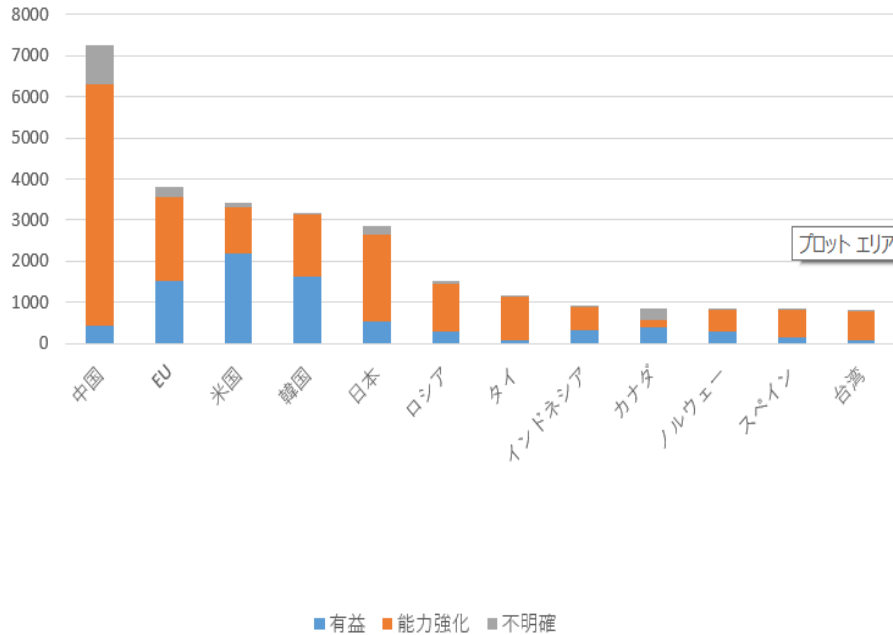
「生物学的に持続可能な漁業資源」は減少



- 2019年に生物学的に持続可能な漁業資源の割合は64.6%。17年に比べ1.2ポイント低下。1974年は90%。
- 生物学的に持続不可能な漁業資源は35.4%と、1974年の10%から大幅上昇
 (FAO世界漁業・養殖業白書、6月29日公表)
- ・ 漁業補助金が影響か

漁業補助金、日本は世界5位

漁業補助金が多い国・地域（2018年）



単位100万ドル、ブリティッシュコロンビア大学調べ

大界約0E乱で0
ア世(0と。体0
年のル0国位。全1位。
口の8億、界世億界
コ148で世は1世
ユ052)で型は2
シ23は円)はい
ツ、は本億次強本は
イと金日0に力日に
テる助。0国能。中
リよ補(38韓るル中
ブに業円)がド
の文漁兆(国な億で、
ダ論の8ル米つ22ル
ナ全体8ドルに22
カ学全4万ド獲2万

- **有益な補助金を促進** = 漁業資源の保全と管理を促進
- **能力強化型の補助金を拡大** = 最大持続生産量(MSY)を超え、乱獲につながるところまで漁業能力を拡大

第12回WTO閣僚会議

- 6月12～17日朝（当初予定は12～15日）に開催
- 主要テーマは5つ（輸出削減、輸入特許削減など）、食料安全保障（ウクライナ）、漁業補助金、WTO改革（機能不全の補正）、農業（補助金の削減）
- 日本からは細田経済産業副大臣（途中で帰国）、二宅外務省副大臣、武蔵産農閣僚は欠席。外交より内政優先
- 他国からは多くの閣僚が出席。USTR代表、英代表、貿易担当、欧州委員、農相、ウクライナ代表

漁業補助金の当初の合意案（6月10日）

○【IUU漁業に対する補助金】→合意

IUU漁業に対する補助金を禁止

○【乱獲資源に関する補助金】→合意

乱獲状態にある資源に関する漁業に対する補助金を禁止。ただし、資源管理などの措置を講じて資源回復を促している場合には補助金を供与できる

×【乱獲につながる補助金】→合意できず

過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる補助金を禁止。ただし、資源を生物学的に持続可能な水準を維持するための措置が実施されていると証明すれば支出できる。途上国には7年間または2030年までの猶予期間を設ける。後発開発途上国（LDC）には適用しない。

「乱獲につながる補助金」とは（合意案）

- (a) 船舶の建造や取得、近代化、改修、改良に対する補助金。
- (b) 船舶の機械及び装置の購入に対する補助金
- (c) 燃料や氷、餌の費用に対する補助金
- (d) 人件費、社会的費用、保険に対する補助金
- (e) 船舶や船員の所得支持
- (f) 魚の価格支持
- (g) 海上での支援に対する補助金。
- (h) 船舶や漁業、漁業関連活動の損失を補填する補助金。

合意案に対する日本政府の立場

武部農林水産副大臣（6月14日、漁業補助金に関するテーマ別セッション終了後）

「各国の懸念にたくみに応えた**バランスの良い**テキストである。未解決の部分があるが、そこに集中して議論すべきだということも（会合で）申し上げた。**大多数のメンバーが協定案を支持**した一方で、**途上国に関する大幅な特別待遇**を主張する国もあったため、本日は合意に至っていない。

日本は支持している。漁業者の皆様に適正な資源管理を進めていこうということで協力を求めているので、それに基づかない政策は正直言って思いつかない。（禁止対象となる補助金の支出は）実施していないと思う。（**日本への）影響はない**と思う」

インドは合意案への反対を表明

インドのゴヤル商工相（6月14日の会合での発言内容を商工省HPに公表）

「インドの漁業部門は伝統的、小規模で、漁業資源の持続的な利用については規律正しい国の1つだ。1漁業者当たりの補助金はわずか年15ドルで、4万2000ドルや6万5000ドル、7万5000ドルも支出する国とは異なる。インドが求める25年の移行期間は恒久的な措置を意図したものではない。**25年の移行期間で合意されなければ、われわれが交渉をまとめることはできない。**低所得の漁業者が長期的に持続可能な成長を続けるために不可欠だ」

※WTOの合意には、加盟164カ国・地域の全会一致が必要。
1カ国でも反対すれば合意できない

「乱獲につながる補助金」は合意できず

漁業補助金の合意（6月17日）

「IUU漁業に対する補助金」「乱獲資源に対する補助金」の禁止で合意したものの、
「**乱獲につながる補助金**」は合意できず、交渉継続

【合意内容の骨子】

- ・ IUU漁業に対する補助金を禁止
- ・ 乱獲状態にある資源に関する漁業に対する補助金を禁止。ただし、資源管理などの措置を講じて資源回復を促している場合には補助金を供与できる
- ・ 漁業補助金の対象となる漁業の種類や漁獲量、資源状態、保存管理措置をWTOに通報。これらの情報は定期的に開催される委員会で審査され、**他の加盟国には質問の機会**が与えられる。
- ・ **4年以内**に包括的な規律が得られないか、一般理事会で別の定めがなされなければ、この**協定は直ちに終了**する。

オコンジョイウエアラ事務局長「WTO加盟国は、環境の持続可能性を中核とする合意を得ることができた。さらに交渉を続けることにもコミットが得られた」（6月17日の閉会式で）

日本政府は「画期的な成果」と評価

武部農林水産副大臣（6. 17、閣僚会議終了後）

「我が国は先般、**漁業法を改正**し、**資源管理と漁業の成長化の両立を図る**ことを進めてきたが、**このような方向性と合致**するので、我が国としては**評価できる内容**となっている。資源の持続可能性という新しい課題についてWTO全加盟国で合意でき、**大変画期的な成果**であると考えている。これまで21年間交渉してきて、何も出せないままではいけないと、何とか建設的、現実的に物事を動かさないという気運が高まった。交渉の過程では、途上国の特別措置について主張した国があった。そうした**対立が激しいところ、溝が深いところは合意の中から落として**、合意に向けた機運を作っていた」

他国政府もおおむね評価

- 米国「WTO加盟国は環境を中核とする初めの前項の多きな間協定に合意
し、将来世代の強化のためには環境資金源を中核とする初めの前項の多きな間協定に合意
した。透明性（タイUS代表）」
- EU「持続可能な貿易担当欧州委員
委員長兼貿易担当欧州委員」
ため、有害な漁業補助金を禁止するとい
（ドムブロウスキス欧州委員会上級副
- ノルウェー「有害な漁業補助金を廃止する合意が国際的な協力に
とて良いニュースだ」（ヴィットフェルト外相）
得られたこ
- 英国「漁業協定は、英海を合め、多くの国が望んで進んで
いるため、道筋を付けた。世界漁業の回復を支援する国際貿易相
を継続する」と決意する」（トレビリアン国際貿易相）
進んで

インドは勝利宣言

- 「W T O 閣僚会議では**インドが主導権**を握り、失敗や暗闇、破滅から楽観的で熱狂的な合意による成果へと交渉の流れを変えた。（漁業補助金交渉に関し）職人漁業者や伝統的漁業者を縛るような、**漁業者が深く懸念していた漁業への規制は設けられていない。インドやインド政府に対する規制は設けられず、I U U 漁業に対するチェックを導入することに成功した。インドは成功した**」（ゴヤル商工相）

環境団体は賛否

- 世界の保護基金（WWF）「協定は164カ国・地域の妥協の産物であり、完璧な壁地改革の触媒となす。策を待たずとも海は壊れる。WTOは、おさらなる補助金や漁業の沿岸改革を待たずとも海は壊れる。WTOは、おさらなる補助金や漁業の沿岸改革を待たずとも海は壊れる。」
- 持続可能な開発に関する国際研究（IISD、カナダ）「WTOが有害な漁業長努補助金の抑制可能な一歩を現し、成功裏に自然環境を害す補助金を表す国間で取り組むため」
- オセアニア（OEAN、米国の漁獲、廃止に再び漁業のWTOは信頼を失った。20年遅れで、WTOは信頼を失った。20年遅れで、WTOは信頼を失った。）「海は再び漁業のWTOは信頼を失った。20年遅れで、WTOは信頼を失った。」
- ブルーム（Bloom、フランス）「多くの漁業補助金が有害であり、乱獲や環境破壊は歴史的な一歩だ。テキストには欠陥があり、不完全だが、大きな前進」

水産庁の説明「日本への影響なし」 続き

- かつ、にか
 ととをし
 こすを
 出理を
 金を管
 て資源
 っ助資
 や補
 り、で、
 かっての
 っいる
 してなる。
 をっなる。
 理な提い
 管に前て
 源題がえ
 資問と考
 、なこと
 がきるる
 だ大いな
 とにてに
 的し必要
 た界と必
 きせんが
 てくちと
 っなきこ
 やでをく
 もけ理い
 でだ管て
 ま国源っ
 れが資や
 こ我もり
- ば、さいた
 け報つれ
 な通にさ
 さる。置出
 示なるで、
 をに意味
 ととて意
 ここれの
 るるらそ
 いすと。な
 っ通金いと
 行に助てこ
 管理をO補
 管W国にが
 資源を各と
 資れがこ
 ば、そ会る
 する委員
 とてO質
 うとT、の
 よなW論、
 しにに議
 与と基ろて
 供ををい
 をい報ろつ
 金な情い
 補助ならた
 補なれても
- がる
 資源す
 る禁止
 あるを
 あを禁
 て、金
 見補助
 的に
 的につ
 ックに
 場合
 ス場合
 は、う
 規律とい
 規いと
 する悪
 すが
 対度
 程の
 資源
 獲資
 乱た
 たあ
 れあ
 さに定
 意態規
 合状う
 今回獲
 今乱とい
- 含がり
 をたよ
 分つを
 部全体
 たが全
 し論て
 意議し
 合ろ論
 合ろ論
 回い議
 今ろも
 は、い
 っここ
 にま
 合後た
 場合
 場最
 い。さ
 なる。残
 来あに
 出が間
 が定の
 意規4
 合っ4
 ていは
 めと国
 含る各
 をな、
 をな、
 体く、
 全な、
 ながた
 間にた
 間力れ
 の効さ
 4年て
 4め合

(リンク先)

第12回WTO閣僚会議のサイト

https://www.wto.org/english/thewto_e/minist_e/mc12_e/mc12_e.htm

漁業補助金の合意内容

<https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/SS/directdoc.aspx?filename=q:/WT/MIN22/33.pdf&Open=True>

漁業補助金の当初の合意案

<https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/SS/directdoc.aspx?filename=q:/WT/MIN22/W20.pdf&Open=True>

FAO世界漁業・養殖業白書（2022年版）

<https://www.fao.org/newsroom/detail/record-fisheries-aquaculture-production-contributes-food-security-290622/en>

ブリティッシュコロンビア大学の論文Updated estimates and analysis of global fisheries subsidies

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0308597X19303677>

インドの声明（6月14日）

<https://pib.gov.in/PressReleasePage.aspx?PRID=1834001>

インドの声明（6月17日）

<https://pib.gov.in/PressReleasePage.aspx?PRID=1834766>

農林水産省の結果概要説明

https://www.maff.go.jp/j/press/y_kokusai/kikou/220617.html

米国の声明

<https://ustr.gov/about-us/policy-offices/press-office/press-releases/2022/june/statement-ambassador-katherine-tai-groundbreaking-fisheries-outcome>

E U の声明

https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/IP_22_3792

ノルウェーの声明

https://www.regjeringen.no/en/aktuelt/wto_agreement/id2919479/

英国の声明

<https://www.gov.uk/government/news/uk-statement-following-the-conclusion-of-the-wto-ministerial-conference>

WWF の声明

https://wwf.panda.org/wwf_news/press_releases/?5852941/WWF-welcomes-long-awaited-WTO-agreement-to-curb-harmful-fisheries-subsidies

I I S D の声明

<https://www.iisd.org/articles/statement/iisd-wto-fisheries-subsidies-deal>

オセアナの声明

<https://oceana.org/press-releases/wto-members-fail-again-to-stop-subsidized-overfishing/>

ブルームの声明

<https://www.bloomassociation.org/en/wto-fisheries-subsidies-deal/>